

## ラオス

## 主要データ

国名〔英名〕	ラオス人民民主共和国〔Lao People's Democratic Republic〕
面積(km <sup>2</sup> )	236,800
海岸線延長(km)	0
人口(百万人)	7.4
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	31.5
GDP(bUS\$)	16.97
一人当り GDP(US\$)	2,278.65
主要鉱産物：鉱石	アンチモン、錫、銅
主要鉱産物：地金	銅
鉱業管轄官庁	天然資源環境省地質鉱物資源局(Ministry of Natural Resources and Environment, Department of Geology and Mineral Resources) エネルギー鉱山省鉱山局(Ministry of Energy and Mines, Department of Mines)
鉱業関連政府機関	計画投資省投資促進局(Ministry of Planning and Investment, Investment Promotion Department) 工業商業省(Ministry of Industry and Commerce)
鉱業法	2006年鉱物法、2008年12月改正鉱物法、2011年12月再度改正鉱物法承認、2012年4月同改正法施行
ロイヤルティ	鉱物法65条第9項(1~7%)
外資法	投資奨励法(2009年)、内外の差別なく統一の投資奨励法として成立
環境規制法(環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	環境保護法(1999年)、2000年環境影響アセスメント規則、2001年環境保護法施行令、2012年改正環境保護法
鉱業公社	なし、但し、政府は開発鉱山の10%まで権益取得の権利を有する
鉱業活動中の民間企業	Chifeng Jilong Gold Mining Co.、PanAust Ltd.

## 1. 鉱業一般のトピックス

ラオス国内には、アンチモン、錫、銅を初めとして、銀、鉛、亜鉛、金などの鉱物資源が賦存している。金属鉱物資源の埋蔵は豊富ではあるものの、まだ未開発な段階にある。行政機関が機能していない等の問題もあるが、開発が進まない理由として、険しい山岳地帯が広がる国土や未整備な交通インフラが起因していると考えられる。

2019年の国連貿易開発会議(UNCTAD)の資料によると、鉱業部門は、政府歳入の12%、その輸出は国の総輸出の45%を占めている。特に、Sepon 鉱山と Phu Kham 鉱山から生産される銅、金、銀は、国内総鉱業生産量の90%を占めているとのこと。

ラオス南部 Savannakhet 県の Sepon 銅金鉱山では2020年6月、約6年半ぶりに金鉱石の処理を再開した。2020年の金の予定生産量は1.0~1.6t/年で、フル稼働予定の2021年には約7t/年とする計画である。また同時に、銅の2020年予定生産量は前年比約38%減の約45千tとする計画であることも明らかにした。なお、同鉱山では2013年12月以降、金埋蔵量の減少と利益幅の低下により、銅生産に絞って生産を行っていた。同鉱山の銅生産は溶媒抽出・電解採取(SxEw)によるもの、金・銀生産はカ

ーボン・イン・リーチ（carbon-in-leach:CIL）法によるものである。

その他の新規プロジェクトとして、工業団地開発等を展開する Jo Bounmy Group 傘下の Jo Bounmy Mining Development 社は、ラオス国防省との協力により、北中部 Xaysomboun 県において金鉱山の開発を推進している。対象となっている金鉱床は同県 Longcheng 郡に位置し、2017 年に開発が開始された。現在では FS を実施しているほか、インフラ・関連施設の整備も行っている。

## 2. 鉱業政策のトピックス

### (1) 5 か年国家社会経済開発計画（鉱業部門）※

#### <第 7 次計画（2011 年～2015 年）の結果>

第 7 次計画期間中、鉱業部門の総生産額は 6,674mUS\$、年間成長率は 6.97% で、計画期間の目標を 184.18% 上回っている。同じく生産量は、銅板 427,329t、金及び銀 85.94t、亜炭 1.6 百万 t、無煙炭 876,704t、銅粉 1.53 百万 t、石膏 3.93 百万 t で、その他の鉱物の生産も期間中増加傾向にある。期間中の鉱物総輸出額は 8bUS\$ を超え、国の総輸出の 60% を占めている。

これまでに 74 社の国内外の企業が探鉱契約を結んでいる（準備段階で 25 社及び採掘・輸出中の 49 社）。Sepon 鉱山及び Phu Kham 鉱山の生産額は合計で、年間 500mUS\$ を超えている。

#### <第 8 次計画（2016～2020 年）の主な目標>

- ・ 商品、サービス部門を多様化し、天然資源部門を削減する。
- ・ 鉱物処理を促進し、未処理鉱物の輸出を減少させる。
- ・ 未加工の鉱石が処理され、輸出する前に高付加価値化を行うよう、鉱物生産を改善する。
- ・ 採掘地域では、社会や環境への影響を回避するため、定常的な掘削の質を改善する。
- ・ 天然資源を管理し、環境を保護するための持続可能な財務メカニズムを確立する。

※2019 年の国連貿易開発会議（UNCTAD）の資料より

### (2) 鉱物探査分野への投資に財務的・技術的基準を設定

エネルギー鉱山省は 2020 年 9 月、鉱物探査分野における投資について一定の財務的・技術的基準を設定したことを明らかにした。財務的基準として、金、銀等貴金属の探査については 10mUS\$ 以上の資金確保が求められ、その他の金属の探査については、10mUS\$ 未満の資金確保でも構わないとされた。技術的基準としては、鉱業において 5 年以上の実績を有することが求められ、実績の無い場合は実績を有する企業・専門家と契約しての探査実施を義務付けた。この基準設定の背景には、鉱業会社の一部に財務的・技術的理由による計画遅延や環境汚染を招いている会社があることがある。事業認可を転売する例もあるという。政府では 2016 年から全国での調査を進め、未着手もしくは遅延の著しい案件の事業認可を取り消したとのこと。

### (3) 金、銀、銅、鉄鉱石等を含むデリバティブの先物取引所を開設

ラオスでデリバティブ（金融派生商品）を取り扱う先物取引所が、2018 年 8 月 17 日に開設された。同取引所は金、銀、銅、鉄鉱石、原油、天然ガス、綿、コーヒー等を取り扱う。取引所はラオス中央銀行、財務省、エネルギー鉱山省、農林省による合併会社である。

## 3. その他トピックス

ラオスの新型コロナウイルス感染者数は 41 人（2021 年 1 月 14 日現在）、東南アジアの中では感染者数の最も少ない国である。同国は、3 月後半から厳しいロックダウンを実施するとともに、近隣各国との往来を空路陸路両方において入国制限を厳しく取り締まった。社会主義国でもあり、国内での封じ込めというより、水際対策が成功していると思われる。

なお、同国中部 Xaysomboun 県に位置する Phu Kham 銅金鉱山を運営する Phu Bia Mining 社（豪 PanAust 社子会社）の鉱山労働者が、2020 年 4 月初旬に新型コロナウイルスに感染していることが判

明、鉱山一時閉鎖措置を受けたとのこと。

(2020. 1. 18 ジャカルタ事務所 南博志)